

# 信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 109 2018年6月

発 行：日本信頼性学会  
東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階  
一般財団法人日本科学技術連盟内  
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842  
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>  
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

## 日本信頼性学会 第 31 回秋季信頼性シンポジウム 発表募集

(日 時) 2018年10月29日(月) 10:00~19:00《時間は予定です》  
(会 場) 一般財団法人日本科学技術連 東高円寺ビル (杉並区高円寺南 1-2-1)  
(主 催) 日本信頼性学会  
(後 援) 一般財団法人日本科学技術連盟  
(協 賛) 特定非営利活動法人安全工学会、公益社団法人応用物理学会、研究・イノベーション学会、一般社団法人電気学会、一般社団法人電子情報通信学会、公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会、一般社団法人日本開発工学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本経営工学会、一般社団法人日本シミュレーション学会、一般社団法人日本人間工学会、一般社団法人日本品質管理学会、一般社団法人プロジェクトマネジメント学会、IEEE Reliability Society Japan Joint Chapter 《後援・協賛は予定です》

### <発表のおすすめ>

わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思いますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜だと思います。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

### <推薦論文のお知らせ>

各セッションの発表の中から優秀なもの1ないし2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ(希望があれば原著論文としても受け付けます)として学会誌への投稿を推薦いたします。推薦論文は、通常よりも短い期間で審査を行います(ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります)。なお、今回のシンポジウムの推薦論文については、掲載可と判定された場合、掲載に必要な費用が免除されます。

### <予定セッション構成>

1. 【組織、管理、規格、プロジェクト管理面】生産システム、組織改革、管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例。管理手法適用事例、人間信頼性、社会との関わり、または新手法。
2. 【試験、故障解析、部品、要素技術の信頼性、ハードウェア面】部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析、物性(接続、接着、腐食、摩耗、疲労、マイグレーションなど)、全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例。
3. 【システムの信頼性、保全性、ライフサイクルおよびソフトウェア面】システムまたはソフトウェアの信頼性、保全性、ライフサイクルコスト、リサイクル、リユース、保全支援活動の設計、解析、保証事例・改善事例など。
4. 【安全性、リスク】産業安全、製品安全、リスク解析など。
5. 【データ収集、解析】情報システム・ネットワークのモニタ、遠隔・多量・自動データ計測、ノイズ解析など。

高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術，新データ探索など．

6. 【理論，一般】基礎理論，数学的技法，モデル化と統計的解析など．

日本信頼性学会 第31回秋季信頼性シンポジウム  
発表申込書

(申込期限 2018年7月30日)

申込日 2018年 月 日

題 目		希望セッション (○印)			1 2 3 4 5 6					
発表者 (登壇者○印)										
勤務先										
連 絡 先	氏名				会員番号					
	勤務先									
	所在地	〒								
	e-mail:									
	TEL	( )	—	FAX	( )	—				

発表の概要

### <参加費と発表者の特典>

[シンポジウム参加費] 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 3,000 円, 非会員 4,000 円, 学生 1,500 円  
[情報交換会参加費] 2,000 円 発表者 (1 名) は情報交換会にご招待いたします。

### <発表申込方法>

申込方法 学会ホームページ <http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=96> の「発表申込書」に  
発表概要を記載の上, 電子メールにてお申し込み下さい。または, 前ページの発表申込書に記  
載して FAX にてお申送ください。  
申込期限 2018 年 7 月 30 日 (月) まで  
審査結果 2018 年 8 月 6 日 (月) 頃までにご連絡いたします  
発表原稿締切 2018 年 9 月 25 日 (火) ワープロで A4 判 4 枚  
お問合せ・申込先 日本信頼性学会事務局 〒166-0003 杉並区高円寺南 1-2-1 (一財) 日科技連内  
TEL03-5378-9853 FAX 03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp

## 日本信頼性学会 故障物性研究会 6 月例会 (第 138 回)

(日 時) 2018 年 7 月 6 日 (金) 13 時 00 分～17 時 00 分

(場 所) 日科技連 東高円寺ビル 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

※地図 [http://www.juse.or.jp/upload/files/map\\_koenji\\_data0227.pdf](http://www.juse.or.jp/upload/files/map_koenji_data0227.pdf)

(本部 (西新宿) ビルではありません。お間違えのないようお願いいたします。)

(議 題)

- 13:00～13:20 1) 学会・実行委員会からの連絡事項  
・新入会員の紹介、オブザーバの紹介  
・その他
- 13:20～ 2) プレゼン&議論
- 13:20～14:10 ①半導体デバイスの電氣的破壊実験と故障解析事例  
－IGBT の故障現象とその故障解析手順 (クオルテック 金子卓史氏)
- 14:10～15:00 ② Sn ウィスカ ～第 2 のリスク到来の兆候～ (会員 村田製作所 斎藤彰氏)
- 15:00～15:10 (休 憩)
- 15:10～16:00 ③ガス腐食試験の試験規格及び実施例 (沖エンジニアリング 佐藤晃太郎氏)
- 16:00～16:50 ④ 今後の例会プログラムテーマについての意見交換
- 16:50～17:00 3) 今後の予定  
・8 月例会 (第 139 回) 8 月 31 日 (金) 日科技連 東高円寺  
・その他
- 17:30～19:30 例会終了後, 懇親会を開催します。皆様のご参加を期待しております。

7 月 6 日開催 138 回例会及び懇親会の出欠連絡は 6 月 22 日 (金) までに事務局宛にご連絡をお願いします。  
(reaj@juse.or.jp)

また, 各種分科会への積極的な参加希望をお待ちしております。(hiroyuki.sato@advantest.com)

(問合先) 日本信頼性学会 事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟 内

TEL03-5378-9853 FAX03-5378-9842 E-mail : reaj@juse.or.jp

詳細は, [http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content\\_id=72](http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72) よりご参照ください。

## 日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

Lcc (Life cycle costing) 研究会は Lcc に興味・関心があるという共通項を持ちつつ、信頼性工学、会計学など異なる専門分野やバックグラウンドを持つ 10 名前後の研究会メンバーで活動を行っています。年に 5 回ほど、原則として金曜日の夜に東高円寺もしくは西新宿の日科技連ビルに集まり研究会を開催しております。

2017 年度からは、Lcc の研究を進めるうえで有用と考えられる IEC 60300-3-12 (Dependability management - Part 3-12: Application guide - Integrated logistic support) の検討を開始し、研究成果を信頼性シンポジウム等で発表していく予定です。

私たちと一緒に Lcc の研究を進めてくださる仲間を募集しています。現段階で日本信頼性学会の会員でなくても研究会にご参加いただくことは可能です。Lcc 研究会に少しでもご関心がある方は、まずは下記のメールアドレスにご連絡をいただき、一度研究会の様子をご見学いただければ幸いです。ご連絡をお待ちしています。

(日 時) 2018 年 6 月 22 日 (金) 18:00~20:00

2018 年 9 月 21 日 (金) 18:00~20:00

(場 所) <6 月 22 日> 日科技連 本部 東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階

\*地図 [http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map\\_honbu.pdf](http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map_honbu.pdf)

<9 月 21 日> 日科技連 東高円寺ビル 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

\*地図 [http://www.juse.or.jp/upload/files/map\\_koenji\\_data0227.pdf](http://www.juse.or.jp/upload/files/map_koenji_data0227.pdf)

(検討内容) IEC 60300-3-12 (Dependability management - Part 3-12: Application guide - Integrated logistic support) について、特に Life Cycle Costing との関連を意識しながら検討していきます。

(連絡先) 研究会主査 中島洋行 - [hiroyuki.nakajima@meisei-u.ac.jp](mailto:hiroyuki.nakajima@meisei-u.ac.jp)

詳細は、[http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content\\_id=45](http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45) よりご参照ください。

## PACIS2018 主催記念特別全国研究発表大会

伝票は IT であった。ビジネスの仕組みを優れたものにするうえで、伝票を工夫して「モノと情報の流れを整える」ことは向上させるべき課題であり続けた。特に、市場は不確実性の源であり、リーンシステムのような自社の柔軟性を実現することで市場の不確実性に対応する方法の有効性が認められた。現在の IoT を基盤としたビッグデータの活用の拡大は、企業とサプライチェーンで実施されてきたモノと情報の整流化を拡大して、市場の需要プロセスさえも企業のビジネスプロセスの一部とみなして、管理のスパンに取り入れ市場不確実性を確実性に変化しようとする動きとも見える。革命的な未来のビジネスが垣間見えている。しかし、プラットフォームを通じたサービス化と補完事業化や、IT を利用した業務活動の標準化と連動して「労働の空洞化」を引き起こし、労働を通じた人間と生活の成熟を妨げる可能性もある。労働・知識・体験の切り売りにつながるのか、新たな分業社会システムの次元を切り開くのか。まさに、経営情報学の真価を問われる状況が現れつつあるのである。

(日 時) 2018 年 6 月 28 日 (木) ~29 日 (金)

(主 催) 経営情報学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー

(横浜市西区みなとみらい 2-2-1 横浜ランドマークタワー25 階)

(事務局) 一般社団法人経営情報学会大会ヘルプデスク  
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター  
FAX 03-3368-2827 E-mail : jasmin-desk@bunken.co.jp

(問合先) jasmin18kinen@googlegroups.com

詳細は、[http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku\\_taikai/2018\\_kinen/](http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2018_kinen/) よりご参照ください。

## 第 48 回安全工学シンポジウム 2018 「安全をめぐる知識・知恵の継承」

(日 時) 2018 年 7 月 4 日 (水) ～ 6 日 (金)

(主 催) 日本学術会議

(共 催) 日本信頼性学会, 他 33 学協会

(会 場) 日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34) 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 出口

(特別講演) 7 月 5 日 (木) 12:30～13:30 (予定)

「活かし」そして「つなぐ」実践的安全活動～機械安全の実践と人づくり～

古澤 登 氏 (安全と人づくりサポート 代表)

(パネルディスカッション)

- ・リスクベース工学の最前線
- ・産官学の機械安全の取組と事例
- ・安全教育と人材育成について (連携 PD)
- ・自動車の自動運転の研究開発の現状と課題

(オーガナイズドセッション)

1. 教育研究機関の環境安全教育
2. 組織と個人のリスクへのセンス向上手法
3. 宇宙輸送における次世代推進システム
4. 電気設備分野の安全・安心技術 (仮)
5. 高齢社会の火災安全と避難計画 ー小規模福祉施設を中心としてー
6. エアバッグ安全とリコール
7. 土木工事の技術的安全性確保・向上の検討
8. 大規模物流倉庫の火災安全
9. 老朽・遺棄化学兵器廃棄の安全と環境の保全に向けて
10. 工学システムの社会安全目標の実用化に向けて
11. Safety-2: 成功事例を分析する実践的取り組み
12. 「災害発生時のリスクマネジメント」火災, 地震, 津波・・・防災と減災, 避災を考える
13. 事故情報と安全対策～事故防止のあり方考える
14. 若手技術者への安全・信頼性の伝承について
15. 機械安全の原点である安全確認型システムから協働システムに

(一般セッション) 64 題程度

(参加方法) 自由参加. 当日直接ご来場下さい. 入場無料です.

(講演予稿集) 当日会場で実費頒布します (一般 5,000 円, 学生 2,000 円)

(懇親会) 7 月 5 日 (木) 16:30～18:30 (予定) 会費 4,000 円 (予定)

(問合先) 事務局: 一般社団法人 日本機械学会

TEL: 03-5360-3505 FAX: 03-5360-3509 E-mail anzen2018@gakkai-web.net

詳細は、<http://www.anzen.org/index.html> よりご参照ください。

## Big Data, Data Science and Machine Learning の近年に見られる 発展と今後の展望

(日 時) 2018年7月11日(水) 15:00~17:00 (スピーチは90分を予定しています)

(主 催) 日本品質管理学会

(共 催) 日本信頼性学会 他

(会 場) 積水化学工業(株)京都研究所 講堂

(来賓講演者) Professor Vijay Nair

The former President of ISI

Head, Statistical Learning and Advanced Computing, Wells Fargo

The D.A. Darling Professor of Statistics and Professor of Industrial and  
Operations Engineering at the University of Michigan

(参加費) 一般 3,000 円, 学生 1,000 円

(問合せ先) 一般社団法人日本品質管理学会

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟内

TEL03-5378-1506 FAX03-5378-1507 E-mail : office@jsqc.org

詳細は, <http://www.jsqc.org/> よりご参照ください (近日掲載予定).

## 第 48 回信頼性・保全性シンポジウム

1971年に開始した当シンポジウムは、いろいろな分野の信頼性・保全性・安全性に携わるエンジニア、マネージャー、研究者の方々にご参加いただき、実践的な技術・経験・研究成果を共有し、意見交換・討議などを行うとともに、基調講演、特別講演、招待講演、特別企画セッション、展示コーナー、フォトコンテストなど、多彩な人的交流と情報交換の場を提供することを主眼として開催しています。貴社の信頼性・保全性活動をより一層発展させるためにも、ぜひともご参加くださるようお願いいたします。

(日 時) 2018年7月19日(木) ~20日(金)

(主 催) 日本科学技術連盟

(後 援) 日本信頼性学会 他

(会 場) 日本教育会館 (千代田区一ツ橋 2-6-2)

(問合せ先) 一般財団法人日本科学技術連盟 品質経営研修センター 信頼性・安全性事業担当

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

TEL03-5378-9850 FAX03-5378-9842 E-mail : re-group@juse.or.jp

詳細は, <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/48rms> よりご参照ください.

## マテリアルライフ学会第 29 回研究発表会

(日 時) 2018年7月19日(木) ~20日(金)

(主 催) マテリアルライフ学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 関東学院大学 関内メディアセンター M803 講義室

(横浜市中区太田町 2-23 横浜メディア・ビジネスセンター)

(問合先) マテリアルライフ学会  
〒116-0011 東京都荒川区西尾久 7-12-16 創文印刷工業(株)内  
TEL03-3893-3692 FAX03-3893-3603 E-mail : mls@kt.rim.or.jp  
詳細は, <http://materials-life.org/> よりご参照ください.

## PM 学会 2018 年度秋季研究発表大会

PM 学会では, 以下の日程で「秋季研究発表大会」を京都市で開催いたします.  
プロジェクトマネジメントは, 工学系, 情報系のみならず, 経営学, 心理学, 社会学, 法学, 安全科学など広く人文科学, 社会科学の研究フィールドと深く関わる学際的学問領域として, 現代社会の発展に寄与しています. 広範な分野の多くの方々にご参加, ご発表頂くことで, この分野の発展を促進することができます. この機会に是非発表をお勧めいたします.

(日 時) 2018 年 8 月 30 日 (木) ~31 日 (金)  
(主 催) プロジェクトマネジメント学会  
(協 賛) 日本信頼性学会 他  
(会 場) 同志社大学 今出川キャンパス 良心館 (京都市上京区今出川通烏丸東入)  
(問合先) PM 学会行事委員会  
論文・発表等に関するお問合せ : [taikai@spm-hq.jp](mailto:taikai@spm-hq.jp)  
詳細は, <https://www.spm-hq.jp/committee/spm2018autumn/> よりご参照ください.

## 日本 OR 学会 2018 年秋季シンポジウム (第 79 回)

(日 時) 2018 年 9 月 5 日 (水)  
(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
(協 賛) 日本信頼性学会 他  
(会 場) 名古屋市立大学 川澄キャンパス病院ホール  
(テーマ) 「社会に浸透・拡大する AI と OR」  
(問合先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F  
TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail : [oota@orsj.or.jp](mailto:oota@orsj.or.jp)  
詳細は, <http://www.orsj.or.jp/~nc2018f/index.php/symposium/> よりご参照ください.

## 日本 OR 学会 2018 年秋季研究発表会

(日 時) 2018 年 9 月 6 日 (木) ~7 日 (金)  
(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
(協 賛) 日本信頼性学会 他  
(会 場) 名古屋市立大学 山の畑キャンパス  
(テーマ) 「スマートモビリティ社会と OR」  
(問合先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F

TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail : oota@orsj.or.jp

詳細は、 <http://www.orsj.or.jp/activity/anmeet.html#a> よりご参照ください。

## 第 10 回知識構造化シンポジウム

本シンポジウムは

(日 時) 2018 年 9 月 7 日 (金) 13:30~17:00

(主 催) 日本科学技術連盟

(後 援) 日本信頼性学会 他

(会 場) 東京証券会館ホール (中央区日本橋茅場町 1-5-8)

(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 TQM チーム SSM-S 担当

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

TEL03-5378-1213 FAX03-5378-9842 E-mail : tqmsemi@juse.or.jp

詳細は、 <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms> よりご参照ください。

## ソフトウェア品質シンポジウム 2018

ソフトウェア品質シンポジウムのコンセプトは「聴く、考える、話す」です。ソフトウェア開発に待ち受ける様々な難関を一つひとつ乗り越えて、更にもう一歩、先に進んで行きましょう！

(日 時) 2018 年 9 月 12 日 (水) ~14 日 (金)

(主 催) 日本科学技術連盟

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 東洋大学 白山キャンパス (文京区白山 5-28-20)

(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 ソフトウェア品質シンポジウム担当

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

TEL03-5378-9813 FAX03-5378-9842 E-mail : sqip-sympo@juse.or.jp

詳細は、 <https://www.juse.jp/sqip/symposium/kaisaigaiyou/> よりご参照ください。

## 信頼性セミナー初級コース

(日 時) 2018 年 9 月 19 日 (水)

(主 催) 日本科学技術連盟

(後 援) 日本信頼性学会 他

(会 場) 日本科学技術連盟東高円寺ビル

(対 象) 信頼性技術および信頼性管理に関して興味をお持ちの方、その重要性を再認識されたい方、設計・開発、品質保証などの各部門のマネージャー、設計開発部門の第一人者、教育担当部門の方

(参加費) 5,400 円 (税込)

(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 品質経営センター 研修運営グループ 信頼性セミナー担当

TEL03-5378-9850 FAX03-5378-9842 E-mail : re-group@juse.or.jp

詳細は、 <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/23060> よりご参照ください

## 第 35 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムは、センサ・マイクロマシン技術のさらなる発展を目標に、学・協会を超えた研究グループ間の情報交換、研究成果およびアイデアの討議の場として開催される、当該分野における日本最大のシンポジウムです。

会期中は、前回までの日本機械学会マイクロ・ナノ工学部門主催の「マイクロ・ナノ工学シンポジウム」、応用物理学会集積化 MEMS 技術研究会主催の「集積化 MEMS シンポジウム」、そして今年新たに、化学とマイクロ・ナノシステム学会主催の研究会が加わって、同時開催されます。またエレクトロニクス実装学会との連携セッションも開催されます。本シンポジウムに参加登録すると、これらの同時開催シンポジウム・セッションにも参加することができます。

昨年に引き続き、一般投稿を基本的にポスター発表のみとすることで、密な議論の場を提供いたします。また、魅力的な基調講演に加え、テクニカルツアー、技術展示、研究者交流企画なども予定しております。皆様からの積極的な投稿とご参加をお待ちしております。

(日 時) 2018 年 10 月 30 日 (火) ~11 月 1 日 (木)

(主 催) 電気学会 センサ・マイクロマシン部門

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 札幌市民交流プラザ (札幌市中央区北 1 条西 1 丁目)

(問合先) 第 35 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム事務局  
株式会社セミコンダクタポータル

TEL 03-5733-4971 E-mail : sensorsympo\_2018@semiconportal.com

詳細は、 [http://www.sensorsymposium.org/index\\_j.html](http://www.sensorsymposium.org/index_j.html) よりご参照ください。

## 12th International Conference on Project Management 2018 (ProMAC 2018)

PM 学会では、「ProMAC2018」の名称で第 12 回 PM 国際会議をバンコクで開催いたします。最高のロケーションで、新たな国際交流の場をご提供いたします。

PM 関連技術は、FMES 会員学会の皆様のフィールドと深く関わっております。皆様が培った知識やノウハウは PM にとって大いに役立つものと考えております。

この機会に国際会議で発表されたことのない方は勿論、他国のエンジニアらと交流したい方、自身の経験を国際会議の場で発表されたい方など国際会議にご興味のある方は是非発表をお勧めいたします。

(日 時) 2018 年 11 月 27 日 (火) ~12 月 1 日 (土)

(会 場) The Landmark Bangkok Hotel, Bangkok, Thailand

(発表申込スケジュール)

・アブストラクト提出締切 7 月 17 日 (火)

・フルペーパー提出締切 9 月 18 日 (火)

(問合先) PM 学会行事委員会

論文・発表等に関するお問合せ : [promac@spm-hq.jp](mailto:promac@spm-hq.jp)

詳細は、 <http://www.spm-hq.jp/promac/2018/> をご参照ください。

## 行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連本部 西新宿	2018/6/22		<a href="http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45">http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45</a>
PACIS2018 主催記念特別全国研究発表大会	ランドマークタワー 横浜市	2018/6/28-29		<a href="http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2018_kinen/">http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2018_kinen/</a>
第 48 回安全工学シンポジウム 「安全をめぐる知識・知恵の継承」	日本学術会議 港区六本木	2018/7/4-6		<a href="http://www.anzen.org/index.html">http://www.anzen.org/index.html</a>
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 東高円寺	2018/7/6		<a href="http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72">http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72</a>
Big Data, Data Science and Machine Learning の 近年に見られる発展と今後の展望	積水化学工業研究所 京都市	2018/7/11		<a href="http://www.jsqc.org/">http://www.jsqc.org/</a>
日科技連 第 48 回信頼性・保安全性シンポジウム	日本教育会館 千代田区	2018/7/19-20		<a href="http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/48rms">http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/48rms</a>
マテリアルライフ学会第 29 回研究発表会	関東学院大学 横浜市中区	2018/7/19-20		<a href="http://materials-life.org/">http://materials-life.org/</a>
JSM2018 (The Joint Statistical Meetings 2018)	バンクーバー カナダ	2018/7/28-8/2		<a href="http://www2.amstat.org/meetings/jsm/2018/">http://www2.amstat.org/meetings/jsm/2018/</a>
The 24th ISSAT International Conference on Reliability and Quality in Design (RQD2018)	Toronto, Canada	2018/8/2-4		
APARM2018 & QR2MSE2018	青島市 中国	2018/8/21-24		<a href="http://www.qr2mse.org">http://www.qr2mse.org</a>
PM 学会 2018 年度秋季研究発表大会	同志社大学 今出川キ ャンパス/京都市	2018/8/30-31		<a href="https://www.spm-hq.jp/committee/spm2018autumn/">https://www.spm-hq.jp/committee/spm2018autumn/</a>
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 東高円寺	2018/8/31		<a href="http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72">http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72</a>
日本 OR 学会 2018 年秋季シンポジウム (第 79 回)	名古屋市立大学川澄キ ャンパス	2018/9/5		<a href="http://www.orsj.or.jp/activity/symposium.html#a">http://www.orsj.or.jp/activity/symposium.html#a</a>
日本 OR 学会 2018 年秋季研究発表会	名古屋市立大学山の畑 キャンパス	2018/9/6-7		<a href="http://www.orsj.or.jp/activity/anmeet.html#a">http://www.orsj.or.jp/activity/anmeet.html#a</a>
第 10 回知識構造化シンポジウム	東京証券会館ホール 中央区	2018/9/7		<a href="http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms">http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms</a>
2018 年度統計関連学会連合大会	中央大学後楽園キャン パス 文京区春日	2018/9/9-13		<a href="http://www.jfssa.jp/wp-content/uploads/2018_1/01/2018announce1_180110.pdf">http://www.jfssa.jp/wp-content/uploads/2018_1/01/2018announce1_180110.pdf</a>
日科技連ソフトウェア品質シンポジウム 2018	東洋大学 文京区白山	2018/9/12-14		<a href="https://www.juse.jp/sqip/symposium/kaisaigaiyou/">https://www.juse.jp/sqip/symposium/kaisaigaiyou/</a>
日科技連 信頼性セミナー初級コース	日科技連 東高円寺	2018/9/19		<a href="http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/23060">http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/23060</a>
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 東高円寺	2018/9/21		<a href="http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45">http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45</a>
<u>第 31 回秋季信頼性シンポジウム</u>	日科技連 東高円寺	2018/10/29	2018/7/30	<a href="http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=96">http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=96</a>
第 35 回「センサ・マイクロマシンと応用シス テム」シンポジウム	札幌市民交流プラザ 札幌市中央区	2018/10/30-11/1		<a href="http://www.sensorsymposium.org/index_j.html">http://www.sensorsymposium.org/index_j.html</a>
12th International Conference on Project Management 2018 (ProMAC2018)	バンコク	2018/11/27-12/1	2018/7/17	<a href="http://www.spm-hq.jp/promac/2018/">http://www.spm-hq.jp/promac/2018/</a>
第 107 回 日科技連 品質管理シンポジウム	大磯プリンスホテル 大磯	2018/11/29-12/1		<a href="https://www.juse.jp/qcs/">https://www.juse.jp/qcs/</a>
Advance in Reliability (仮題)	国立精華大学 新竹市, 台湾	2018/12/15-16		